

SISTER CITIES NEWS

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.66 2016.4.30

茨木市国際親善城市協会



国際交流の集い

## CONTENTS 目次

● 第22回国際交流の集い .....	2
● 竹田市への市民訪問団、竹田市・小豆島町宿泊施設利用補助制度 .....	3
● JICA研修員ホームビジット .....	4
● 姉妹都市活動室・実用日本語学習会・青少年活動室・中国語教室 .....	5
● (一社) 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業 .....	6
● 英語俳句・事業計画(予定) .....	7
● ホームページリニューアル .....	8





## 国際交流の集いを実施しました

平成28年1月31日(日)、茨木市立生涯学習センターで国際交流の集いが開催されました。

外国人のみなさんと交流しながらいろんな文化を体験!

市内の高校生たちによるステージでの演奏や、外国の舞踊などの披露、茨木市で暮らす外国人のみなさんの日本語によるスピーチなど、耳から、目から入ってくる異文化を、みなさんに楽しんでいただきました。普段めったに体験することのない餅つきを体験し、つきたてのお餅の美味しさにニコリです!



炭坑節



餅つき



書道体験



バルーンアート



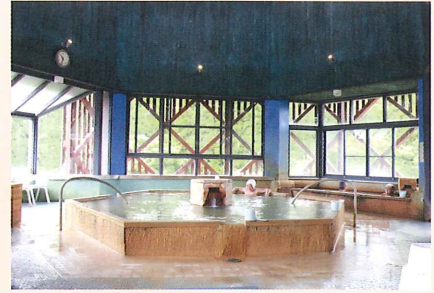
関西大倉学園和太鼓部「雷」



## 歴史文化姉妹都市 大分県竹田市への 市民訪問団員を募集 !!

今秋、姉妹都市提携から3年目となる竹田市へ、2年ぶりの訪問団を派遣します。

スケジュールなどの詳細は、広報いばらきに掲載予定となっています。また、協会ホームページやFacebookページなどでもお知らせしますので、ぜひご応募ください！



## 大分県竹田市・香川県小豆郡小豆島町に 宿泊する方へ補助がでます！

話題の「おんせん県」大分にあり、炭酸泉で全国的に有名な竹田市の宿泊施設(市が指定する施設に限る)を利用する茨木市民の方に、宿泊費用の一部を補助します。

宿泊日の10日前までに茨木市 文化振興課へ交付申請書(要印鑑)の提出が必要です(必着)。

また、もうひとつの国内姉妹都市小豆島町についても、同様の制度があります。こちらもご利用ください！

### 竹田市補助額

中学生以上 …… 1泊 5,000円

小学生 …… 1泊 3,000円

### 小豆島町補助額

中学生以上 …… 1泊 2,000円

小学生 …… 1泊 1,500円



竹田市 久住高原



小豆島 オリーブ公園

- 利用施設の利用料金が補助額に満たない場合は、当該利用料金を補助額とします。
- お一人様年間 1泊分まで補助いたします。(4月1日から翌年の3月31日までの期間で1泊分のみ)
- 幼児に対する補助はありません(小学生以上)。
- 補助の対象となる宿泊施設は市が指定するものに限りです。

詳しくは茨木市ホームページの文化振興課のページでご確認ください。



## ホームビジット

平成28年2月12日(金)から19日(金)まで、アフリカのタンザニア連合共和国から14人の研修生が、JICA(独立行政法人国際協力機構)の「地方政府改革プログラム」の一環として、茨木市役所で行政研修を実施しました。

市役所での研修が終了した翌日の20日(土)に、本協会のホームビジット登録家庭の皆様にご協力いただき、ホームビジットを実施しました。今回はご協力いただいたご家庭のうち、吉池さんからホームビジットの感想を伺っています。

### ホームビジットに 寄せて

2月20日に我家には、タンザニア人の男性1人、女性1人をお迎えした。2人とも母国では、地方自治の管理職として勤務されている方であった。当日は京都市内を案内し、最初に清水寺を訪問したところ、「寺と京都の街並みがとても調和していてとても美しい」と感心されていました。京都の普段の光景が研修生にはとても新鮮に映ったようです。次に、予約しておいた茶道体験教室では、英語での説明があり、茶道の歴史を学ぶとともに抹茶の味を堪能した様子でした。昼食では、男性がハラール対応の食事が必要で気を揉んだが「がんこ」にて対応可能とのことで、アジのフライなどを食し、「とてもおいしい」と好評を得た。楽しいひと時はあっという間に過ぎてしまったが、少しでも日本のファンになってもらえればとの思いがありました。今後も2人と連絡をとり、将来、タンザニア訪問も挑戦したいという気持ちが強くなりました。



### ホームビジット受入家庭に登録しませんか!?



ホームビジットとは、ホームステイとは違い、宿泊のない外国人ゲストの受入のことです。

自宅に招いたり、外で食事や観光をしたり、その日何をするかは、ゲストと受入家庭が相談して決めていきます。

ホームビジットの依頼があったときは、その都度、ホームビジット受入家庭に登録しているご家庭に郵送で実施する日程などをご案内します。

内容をご確認いただき、受入可能な場合は、協会事務局までお電話でお申込みいただけます。

ホームビジット受入家庭に登録しても、必ず受入をしなけ

ればならないというわけではありません。

外国人ゲストと一緒に時間を過ごすことで、海外との文化の違いを感じたり、日本の文化をあらためて知るきっかけになったりします。それと同時に、日本に住みながら世界中にお友達を作ることができます。

ぜひ、ホームビジット受入家庭にご登録いただき、一度体験してみてください!

ご登録については、協会事務局までお気軽にお問合せください。



## WE ARE FRIENDS!

青少年活動室では、英語でクッキング、ハロウィン、クリスマスなど、毎回テーマに沿って講師の久徳ウェンディ先生と一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」を、原則2・3・4・5・7・9・10・12月の第3日曜日にクリエイトセンターで行っています。詳細は、開催月の広報いばらき及び協会ホームページでお知らせしています。

- 対 象 小学4年生～中学3年生
- 連 絡 協会事務局 (TEL 072-620-1810)



## Let's learn Japanese together!

### 実用日本語学習会

「実用日本語学習会」では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください!

- と き 《Thursday Class》 1:30 ~ 3:00 p.m.  
《Friday Class》 10:00 ~ 11:30 a.m.
- と ころ 8th Floor at City Hall South building  
平成28年度は開催場所が変更となります。  
詳細は協会事務局までお問合せ下さい。
- ひょう 1期 1,500円 (テキスト代は実費)  
※木・金曜の両方に参加の場合は、3,000円
- れんらく 協会事務局 (TEL 072-620-1810)



## 我們是朋友! — 中国語で遊ぼう —

「我們是朋友! (ぼくらは友達)」では中国人の講師と中国語に親しみたい子どもたちを募集しています。毎月1回(7・8月は除く)原則第3土曜日に、ローズWAMで開催しています。親子で参加できる中国語教室ですので、ぜひ保護者の方々も一緒にご参加ください!

※もちろん子どもだけでも参加可です。

- 対 象 小学生・中学生、参加児童の保護者
- 連 絡 協会事務局 (TEL 072-620-1810)

※テーマや持ち物などの詳細は、開催月の広報いばらき及び協会ホームページでお知らせします。



## Ibaraki Intercultural Network

### 姉妹都市活動室



姉妹都市活動室では、ミネアポリス市との交流を支えるための英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーの英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行ったりしています。また、JICA研修員、大阪大学留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。



- 例 会 第1木曜日 午前9時30分～11時30分  
第3土曜日 午後2時～4時
- 場 所 クリエイトセンター  
※協会事務局へお問合せください。
- 資 格 茨木市国際親善都市協会会員
- 年会費 正会員:2,500円 (18歳以上)  
準会員:1,000円 (中・高校生)
- れんらく 協会事務局 (TEL 072-620-1810)

ホームページ: <http://www.zd.em-net.ne.jp/~iin/>



## 一般社団法人 茨木カンツリー倶楽部 青少年国際交流助成事業基金

当基金では、茨木市国際親善都市協会が主催・共催する事業または後援する事業や、海外・姉妹都市でのスポーツ・文化交流に参加する市内の青少年(満24歳以下)または青少年団体などに助成をしています。

### □ ラボ国際交流事業

(公益財団法人ラボ国際交流センター)

平成27年7月20日から8月26日まで、アメリカ合衆国やカナダの各都市で、茨木市在住の中学生がホームステイを通じて、その国の文化を学び、ホストファミリーたちと友情を深めました。

### □ 語学研修(オーストラリア・ケアンズ)プログラム

(府立春日丘高等学校)

平成27年7月12日から18日まで、オーストラリア・ケアンズで、春日丘高等学校の生徒11人がホームステイを体験し、語学学校で英語を学びながら、様々なアクティビティを体験しました。

### □ Aussie Gold International Cheers & Dance Championships

(ワールドウイングススポーツバトンクラブ)

平成27年7月2日から7日まで、オーストラリアで開催された大会に、日本代表として出場し、見事優勝しました。

### □ 第13回小豆島オーリーブ杯小学校バレーボール大会事業

(茨木郡VBC・たまさぶジュニア・玉櫛スポーツバレーボールクラブ・太田ジュニアバレーボールクラブ・茨木ジュニアバレーボールクラブ)

平成27年10月17日から18日に小豆島町で開催された第13回小豆島オーリーブ杯小学校バレーボール大会に市内5つのバレーボールチームが参加しました。

### □ 第32回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会

(茨木市国際親善都市協会)

平成27年11月8日に茨木市福祉文化会館で第32回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会が開催されました。市内在住・通学する中学生16人、高校生11人が出場し、素晴らしいスピーチを発表しました。

### □ 第9回ミネアポリス派遣交流事業

(府立春日丘高等学校)

平成28年3月1日から8日まで、アメリカ合衆国ミネアポリス市で、ホームステイを体験しながら、現地の高校生とふれあいました。

### □ ムルシア音楽祭

「Entierro de la Sardina(イワシの埋葬)」

(早稲田摂陵高等学校)

平成28年3月28日から4月4日まで、スペイン・ムルシアで開催されるムルシア音楽祭から吹奏楽コース ウィンドバンドが招待を受け、現地で演奏を披露しました。

### □ 絵画・書の交換事業

(茨木市国際親善都市協会)

平成27年11月から12月にかけて、茨木市内の小中学校・幼稚園の皆さんの作品を茨木市の国内外の姉妹都市へ送付し、現地での展示や美術展へ出品しました。また、小豆島町やミネアポリス市からも児童の作品が送付され、茨木市役所で展示しました。

今年の3月に実施されました「第9回ミネアポリス派遣交流事業(府立春日丘高等学校)」は、茨木市の姉妹都市であるアメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス市でホームステイなどを体験するプログラムでした。1年生の山本颯輝さんから、プログラムを終えた感想を伺っています。

### アメリカミネアポリス派遣プログラムに参加して

派遣日程▶平成28年3月1日(火)～3月8日(火)

大阪府立春日丘高等学校1年 山本 颯輝

最近、日本では自分の家の隣に誰が住んでいるのか知らない人が増えてきています。でも私が住んでいるマンションでは同世代の子どもが多く、子どもを通して親同士が仲良く交流があり、近所付き合いは盛んなほうです。

しかし、私がミネアポリスに行って感じたことは、近所付き合いは盛んですが、近所付き合いの幅が大きいことです。家の近くに住んでいる人はもちろん、家の近くを散歩している人、家の近くのスーパーで働いている人とも、私のホームステイ先の家族はいつもフレンドリーに話をしていました。そして、どんな人とも、会話の最後に「Have a nice day.」「You too.」と、言って終わります。お互いに相手のことを思っている、この言葉が私はとても温かく聞こえ、日本にはない「あいさつ」だと思いました。

日本は国際化が進み、現在では英語はこれからを生活していく上でなくてはならないものです。そして、今英語は、小学校教育が行われるほど力を入れられています。しかし、私は一週間アメリカに滞在して、国際的に世界と関わっていくためには、英語をただ話すことができるだけではなく、相手の民族的思考や文化をよく理解した上で、英語をつかい、コミュニケーションを積極的にとる、そういう国際理解が大切だとわかりました。

一週間という短い期間でしたが、毎日が新しいことの発見でとても充実していました。ただ、「もっと知りたい。」「もっとここにいたい。」という気持ちが強くなり、私の新しい夢として「留学をしたい」という選択肢もできました。





## 英語俳句コンテスト 入賞作品決定!!

毎年、開催している英語俳句コンテストに、今年もミネアポリス市から114句の応募がありました。今年のお題は「本(book)」です。選考の結果、各部門で1位に選ばれた作品と審査員の講評をご紹介します。

□ 幼稚園・小学校の部  
作者: Mulki Mohamud-Karieさん  
(英 文) Reading trail of words  
Dry paper on my fingers  
I hear murmuring  
(日本語訳) 言葉の意味をたどって読んでいると  
指に触れる乾いた紙の  
つぶやきが聞こえてくる

□ 中学生の部  
作者: Rose Marshall さん  
(英 文) Words fall like leaves, crash!  
Onto the empty white page  
A story appears  
(日本語訳) 言葉は木の葉のように落ちて衝突  
何も無い白い頁に  
物語が現れる

□ 高校生の部  
作者: Naomi Uleitaさん  
(英 文) On the old bookshelf  
Nestled in crisp white pages  
Forgotten Language  
(日本語訳) 古い本棚で  
しわのない紙に心地よく委ねている  
忘れられた言語

□ 成人の部  
作者: Beth Chaplin さん  
(英 文) When reading a book  
Time melts away like snowfall  
The first day of spring  
(日本語訳) 読書の時は  
時間は雪だるまのように溶けていく  
春立つ日

今年度のテーマはBOOK(本)です。本は身近であるだけにテーマとして取りあげるとは実に難しいことです。しかしBOOKを新しい描写や、見かたで描いた作品には新しい発見があります。本が身近にあり日常のありふれた物であるだけに、その描写の新しさは新鮮で魅力的なハイクを生み出すと云えましょう。

作品にはpage, reading, paper, covers, library, story, bookshelfといったBOOK関連の語彙が出てきました。しかし日本の俳句と違って、季節感を表す言葉や季語が入っていない作品も多く見られました。外国語ハイクにおいても、できるだけ季節感を詠むことを提唱していますが、小・中学生にとっては、三

行、十七音節で作ることに手一杯だと思います。一方で、本に没頭する時間を宝石や冒険への旅路とイメージした内容の作品もあり、全体的に上質の作品が多くみられました。三行、十七音節の短いハイクをいかに工夫して仕上げているか、作者の努力を読み取ることは実に刺激的でした。

選句の基準は、イメージの明確なもの、観念的でないもの、陳腐でないもの、プロパガンダや広告文でないもの、新しい視点があるもの、英語語彙の上手さ、音の使い方の優れたものとししました。(…中略…)

1990年から始まったこの茨木市ハイクコンテストは日米の英語ハイク交流に大きく貢献していると云えましょう。

翻訳・講評: 吉村 侑久代氏(元朝日大学教授・文学博士・元日本英詩協会会長)

## 平成 28 年度の予定

今年度も姉妹都市や国際交流の楽しいイベントがたくさん行われます!

皆さんぜひご参加ください! イベントの詳細は、ホームページやFacebookで公開していきますので、お楽しみに!!

- ミネアポリス市との交流
  - ミネアポリス体験ツアー派遣(7月中旬) ※申込期間終了
  - 書画の交換(11月)
  - 英語俳句コンテストの選考(2月)
  - 市内高等学校の短期留学(3月下旬)・受入事業の支援
  - 市の諸事業への協力及び諸団体の交流促進
- 安慶市との交流
  - 書画の交換(11月)
- 小豆島町との交流
  - 小豆島オーリーブマラソン訪問団派遣(5月) ※申込期間終了
  - 書画の交換(11月)
- 竹田市との交流
  - 書画コンクール「画聖『田能村竹田』先生をしのぶ美術祭」への応募促進(9月)
  - 竹田市への市民訪問団派遣(秋季)

- その他の交流活動
  - 英語スピーチ大会の開催(11月上旬)
  - 姉妹都市活動室例会の開催
  - 青少年活動室「We are friends!」の開催(年間8回、1月・6月・8月・11月を除く)
  - 実用日本語学習会の開催(年間を通して)
  - 市内在住外国人との「ふれあい交流」開催(時期等未定)
  - 「国際交流の集い」の開催(1~2月)
  - ホームステイ・ホームビジット受入及び登録家庭の拡充
  - 中国語教室「我們是朋友」開催(年間10回、夏休み期間を除く毎月)
  - 登録通訳ボランティア事業の実施
  - その他交流事業の支援

## 茨木市国際親善都市協会 ホームページが見やすく楽しく!!

茨木市国際親善都市協会ホームページをリニューアルしました。  
これまでより見やすく、イベント情報なども満載です!

子どもさん向けの教室の案内や、茨木市国際親善都市協会  
Facebook ページへのリンクや、在住する外国人に便利な情報などもご  
覧になれます。皆さん、ぜひ一度ご覧になってください!!



## 茨木市国際親善都市協会 Facebook ページ!!

協会では、民間のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用し、「茨木市国際親善都市協会Facebook ページ」の運用を開始しました。ぜひご利用ください!!

茨木市国際親善都市協会Facebook ページはどなたでも閲覧することができます。

茨木市国際親善都市協会Facebook ページの「いいね!」ボタンを押したり、コメントを投稿するためには、アカウント登録が必要です。Facebook の利用方法については、「Facebook ヘルプセンター」でご確認ください。



## 茨木市国際親善都市協会 会員募集!!

本協会では、茨木市の姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。会員のみなさまには、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内、また、協会主催事業への参加費の一部助成を行っております。

- 主な活動内容 在住外国人の皆さんとの交流  
姉妹・友好都市への市民親善訪問  
中・高校生の「英語スピーチ大会」など
- 年会費 個人会員 (一般) 2,000 円 (学生) 1,000 円  
団体会員 一口 5,000 円
- 申込先 協会事務局 (茨木市市民文化部文化振興課内) TEL072-620-1810  
協会ホームページ : <http://www.ifai.jp/>